

農林水産省 近畿農政局 滋賀県拠点 管内概況



平成28年4月

滋賀県の地勢・気候

1 地勢

東西60km、南北100kmに広がる菱形をなし、その周囲を京都、福井、岐阜及び三重の各府県に囲まれています。

県中央よりやや北側に国内最大の湖である琵琶湖(670km²)があり、その面積は県全体の約6分の1に及びます。

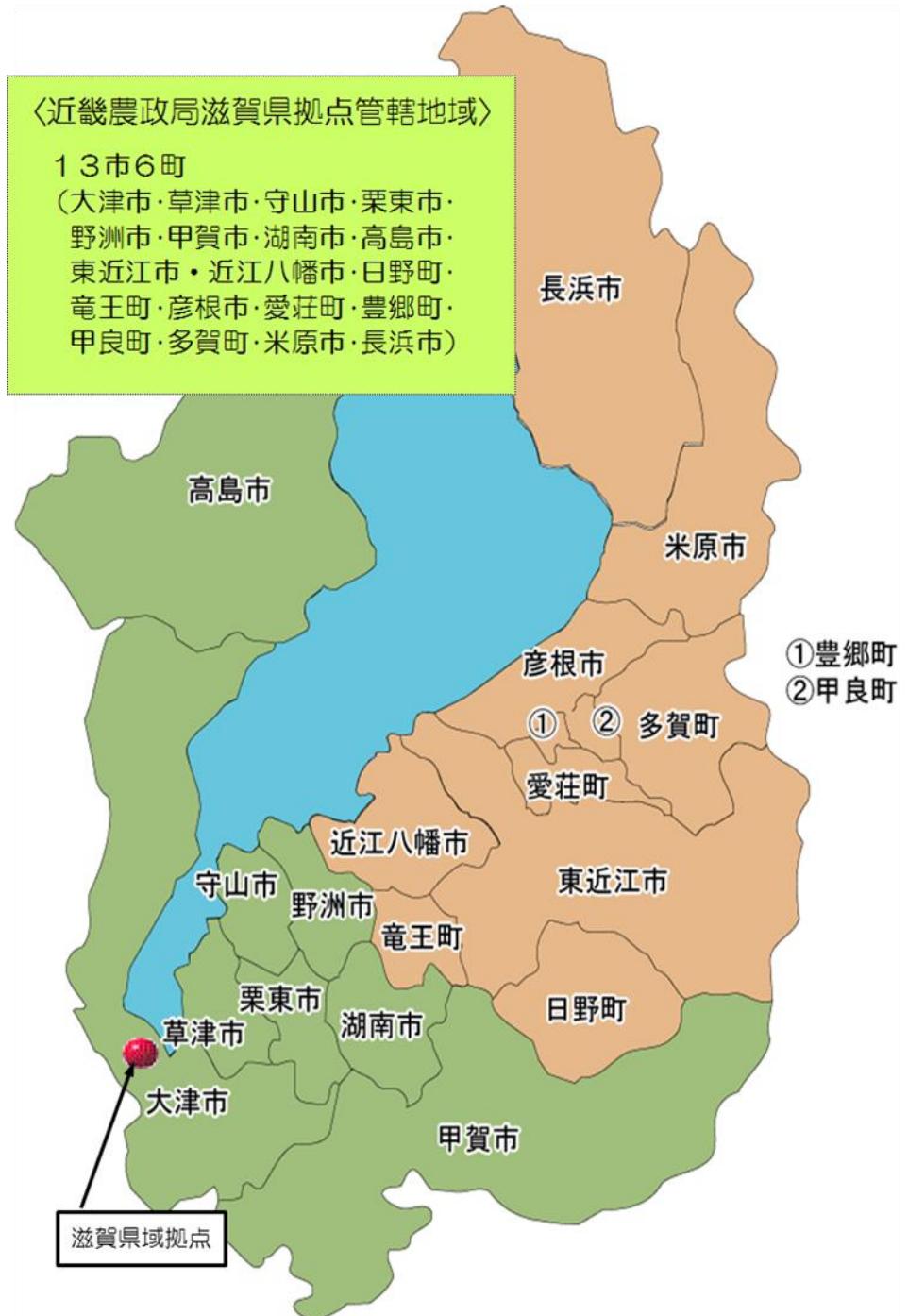
県の北西部には比良山地、北東部の岐阜県境には伊吹山地、南東部の三重県境には鈴鹿山脈などの1,000m前後の山々が取り囲んでいます。

2 気候

北 部：若狭湾に近く、概して冬季に降水量が多い日本海型気候であり、積雪地帯であります。

南 部：瀬戸内型気候に近く、夏は高温多雨、冬季の積雪はわずかです。

市町区画図





滋賀県の農業 ①

農家数（10年前の2/3に縮小しています）

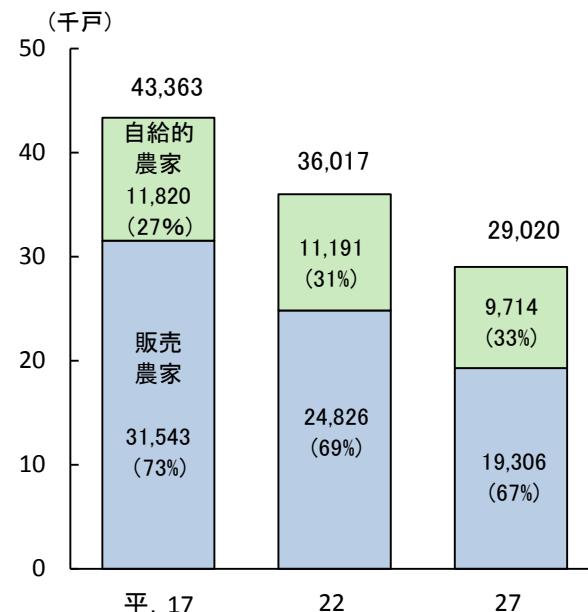
- ▶ 総農家数（平成27年）は、約2万9千戸となっています。
- ▶ 10年前の2/3程度（▲約1万4千戸）に縮小しています。

- 自給的農家とは、経営耕地面積が30アール未満で、調査期日前1年間の農産物販売金額が50万円以下の農家をいいます。
- 販売農家とは、経営耕地面積が30アール以上、又は調査期日前1年間の農産物販売金額が50万円以上の農家をいいます。

- ▶ 販売農家のうち、副業的農家が約3/4割を占め、主業農家は1割に達しません。
- ▶ 滋賀県は、京都府、大阪府、神戸市などの通勤圏にあることから、副業的農家が多くなっています。

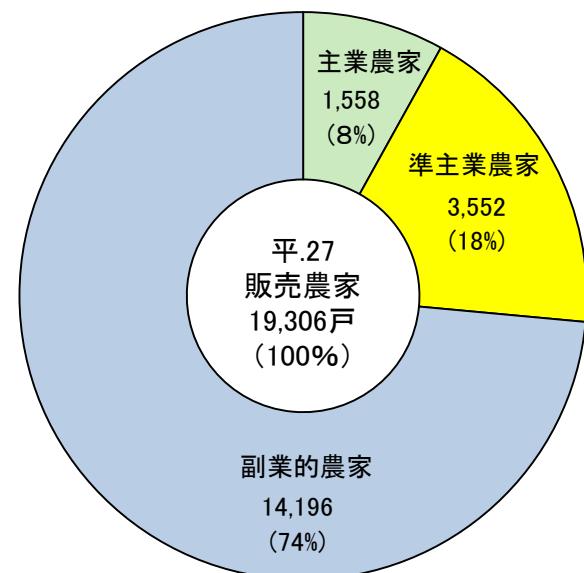
- 主業農家とは、農業所得が主で、調査期日前1年間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいる農家をいいます。
- 準主業農家とは、農外所得が主で、調査期日前1年間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいる農家をいいます。
- 副業的農家とは、調査期日前1年間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がない農家をいいます。

○ 農家数の推移



資料：農林業センサス

○ 販売農家の主副業別割合



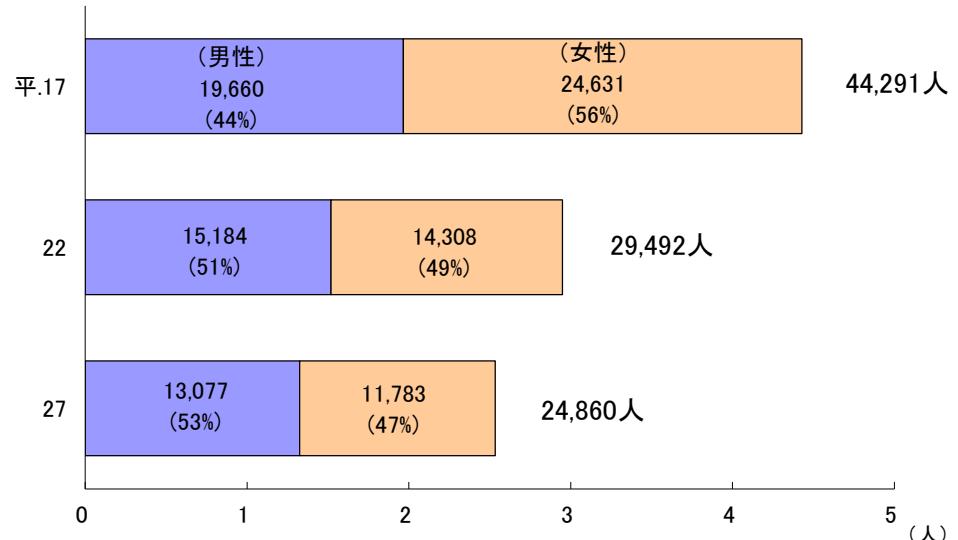
資料：農林業センサス

農業就業人口（全国で13番目に高い高齢化率）

- ▶ 農業就業人口（平成27年）は、約2万5千人で、男女割合はほぼ半々となっています。
- ▶ また、10年前（約4万4千人）の約半分（約▲44%）に縮小しています。

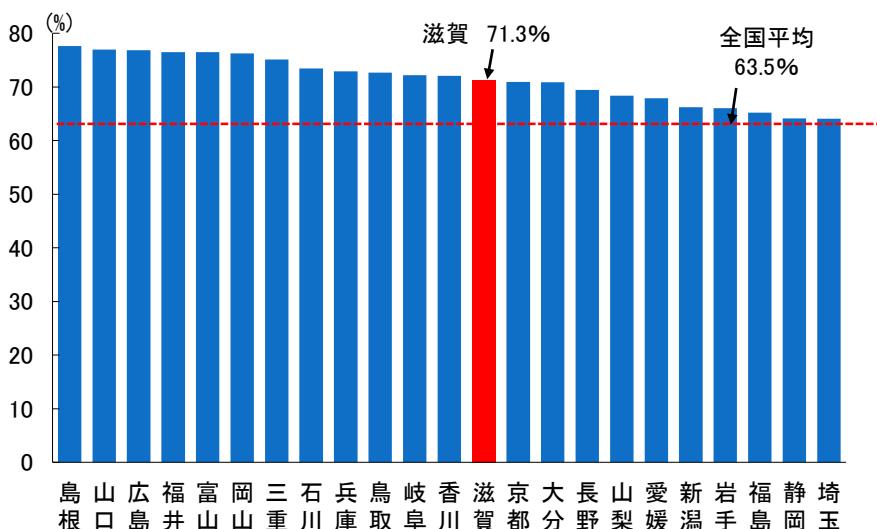
- 農業就業人口とは、自営農業に従事した世帯員のうち、調査期日前1年間に自営農業のみに従事した者、又は農業とそれ以外の仕事の両方に従事した者のうち、自営農業が主の者をいいます。

○ 男女別農業就業人口



資料：農林業センサス

○ 農業就業人口に占める65歳以上の割合

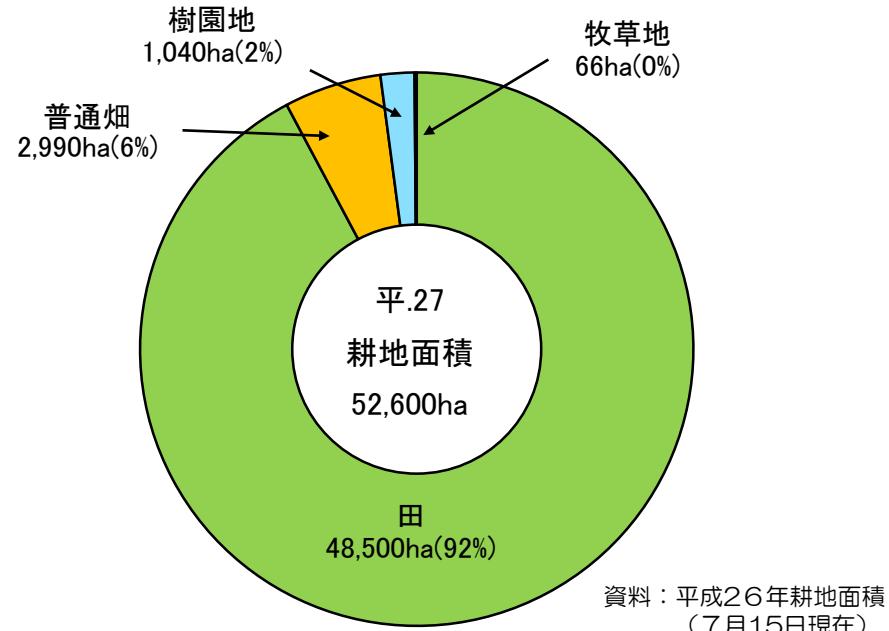


資料：農林業センサス

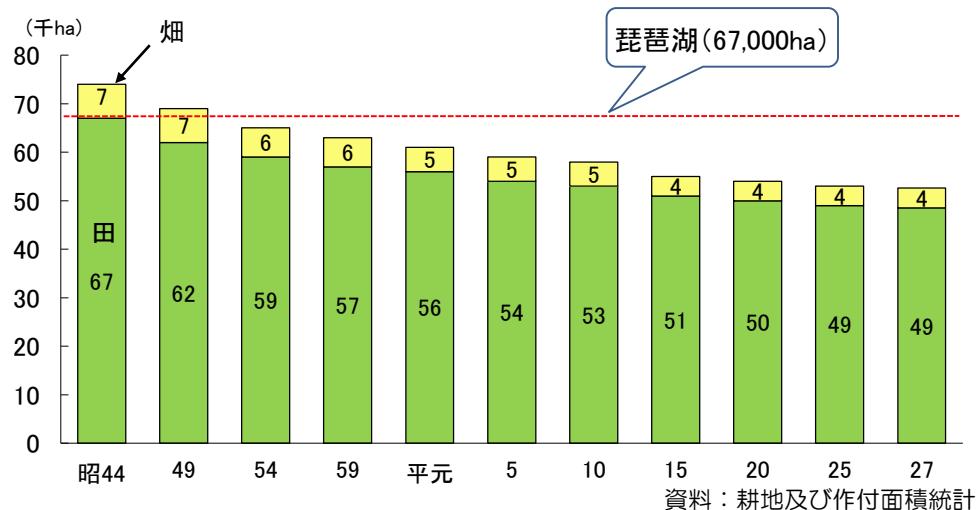
耕地面積（琵琶湖の面積より小さい）

▶平成27年の耕地面積は約5万3千haです。これは、琵琶湖の面積約6万7千haを下回っています。

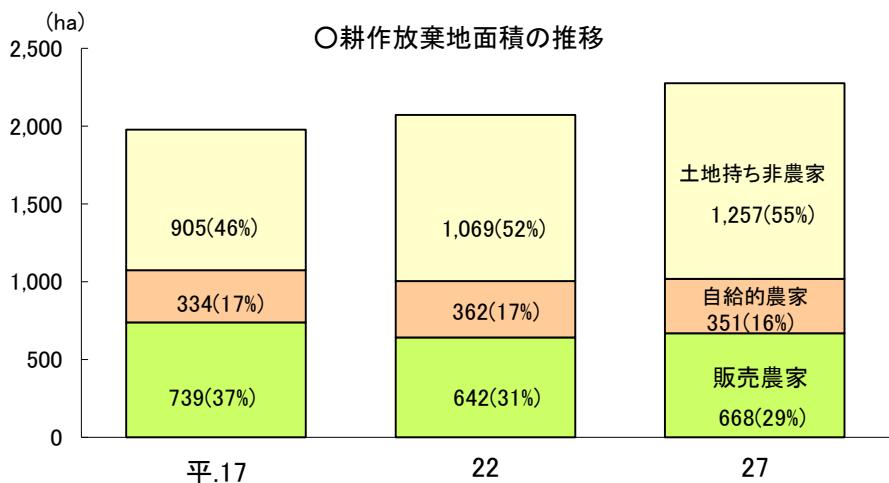
○耕地面積の構成



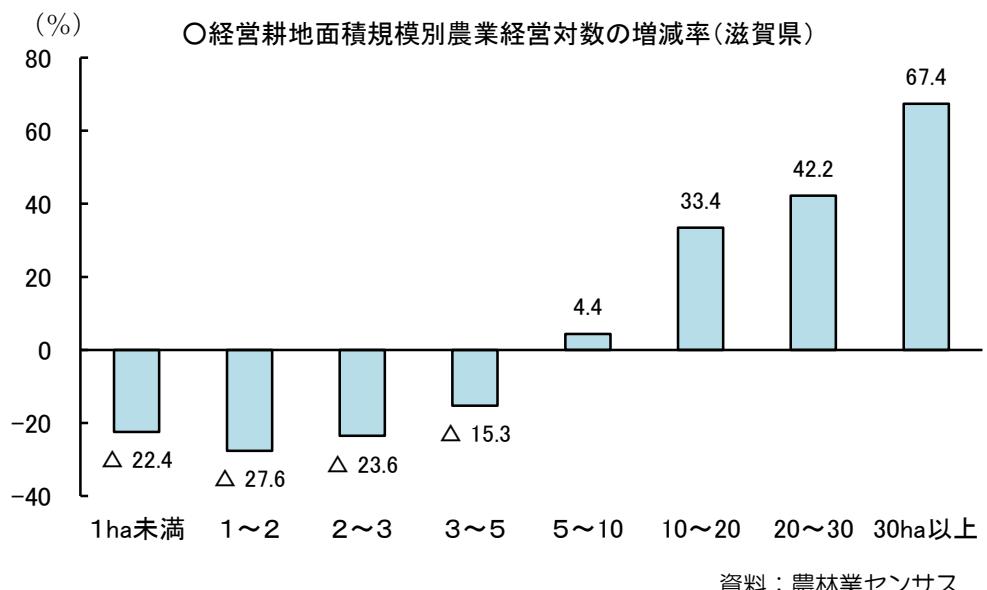
○耕地面積の推移



耕作放棄地（平成27年では約2.3千ha）



▶経営耕地面積規模別に農業経営体数の増減率をみると、5年前(平成22年)に比べて5ha以上層で増加しており、特に大規模層になるほど増加率が高くなっています。



6次産業化の取組が広がっています

農業者が、地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す「6次産業化」の取組みが広がっています。
これまで滋賀県では、68件の事業計画の認定を受けています（全国では7番目に多い）。（H28. 3. 31 現在）

農事組合法人 つづらファーム (滋賀県彦根市)

自社で生産する米、麦、大豆の作付面積を拡大するとともに、「黒豆で元気一発推進プロジェクト」を実施する。プロジェクトは、黒豆茶、黒豆ウーロン茶、黒豆プリン、味噌、煮豆、コロッケや弁当等の加工をすることにより、農産物の付加価値を高め、組合員及び地域全体の所得向上を目指し、地域の活性化を図り、地域農業の変革と発展を図る。



前野 利在 (滋賀県甲賀市)

自家生産する茶を既に実用化されているピューレ化技術を応用し、緑茶ピューレの製品化を目指す。さらに、製品に含まれる機能性成分の含有量等に関する情報を整理し、情報発信をおこない、新たな販路拡大に繋げることで、茶業経営の多角化による経営改善・安定化を図る。



株式会社 Rose Universe (滋賀県守山市)

当社は、これまでの観賞用バラに特化した生産体制を見直し、食用バラの生産を開始する。この当社オリジナル品種のバラの中から、食用と加工に向く品種を選び、食用と風呂（入浴）用として販売する。さらに、この食用バラを原料とする加工品として、バラジャムと飲用ローズウォーターの開発を行う。これらの取組により、当社の経営の多角化及び安定の向上を図る。



大吉畜産株式会社 (滋賀県高島市)

自社生産する和牛は、「近江の伝統」を意識した良食味の牛づくりを追求している。今後、更なる経営改善を図るには、顧客からの感想をダイレクトに聞くことが不可欠と感じており、農家レストランという新たな業態に参入することで、経営改善や、新たな販売拠点の整備による新規顧客の獲得で、収益の向上と雇用の増大を図る。



地産地消に取組んでいます



あいとう直売館 (滋賀県東近江市)

「足りない物は、地域で作ろう」を合言葉に、地域の農産物の生産品目を70品目から336品目まで拡大、加工品等の新商品の開発、食育活動、景観づくりなどに取り組み、東近江ブランドの農産物の販売拠点となっています。

H27年度地産地消優良活動表彰で農林水産大臣賞（地域振興部門）を受賞

食と農のインバウンドに取組んでいます

(株)BSCインターナショナル Tour du Lac事業部 (滋賀県大津市)

地域の農家等の協力を得て、彼らの日常の生活スタイルを見て体験してもらう外国人旅行者向け体験ツアー（餅つき・稲刈り等）を実施しています。



H27年度近畿の食と農のインバウンド優良表彰で近畿農政局長賞を受賞

女性が活躍しています



「ほっとすていしょん比良」で軽食喫茶・加工品販売

北比良グループ（滋賀県大津市）

女性の感性を活かした食と農を結ぶ活動～地元産米・転作大豆を使った味噌の加工販売をはじめ、野菜づくりや体験農園、畠でのコンサートやお茶会、消費者交流会まで～を行っています。



「里山弁当」は、H26年度地産地消給食等メニューコンテストで近畿農政局長賞を受賞



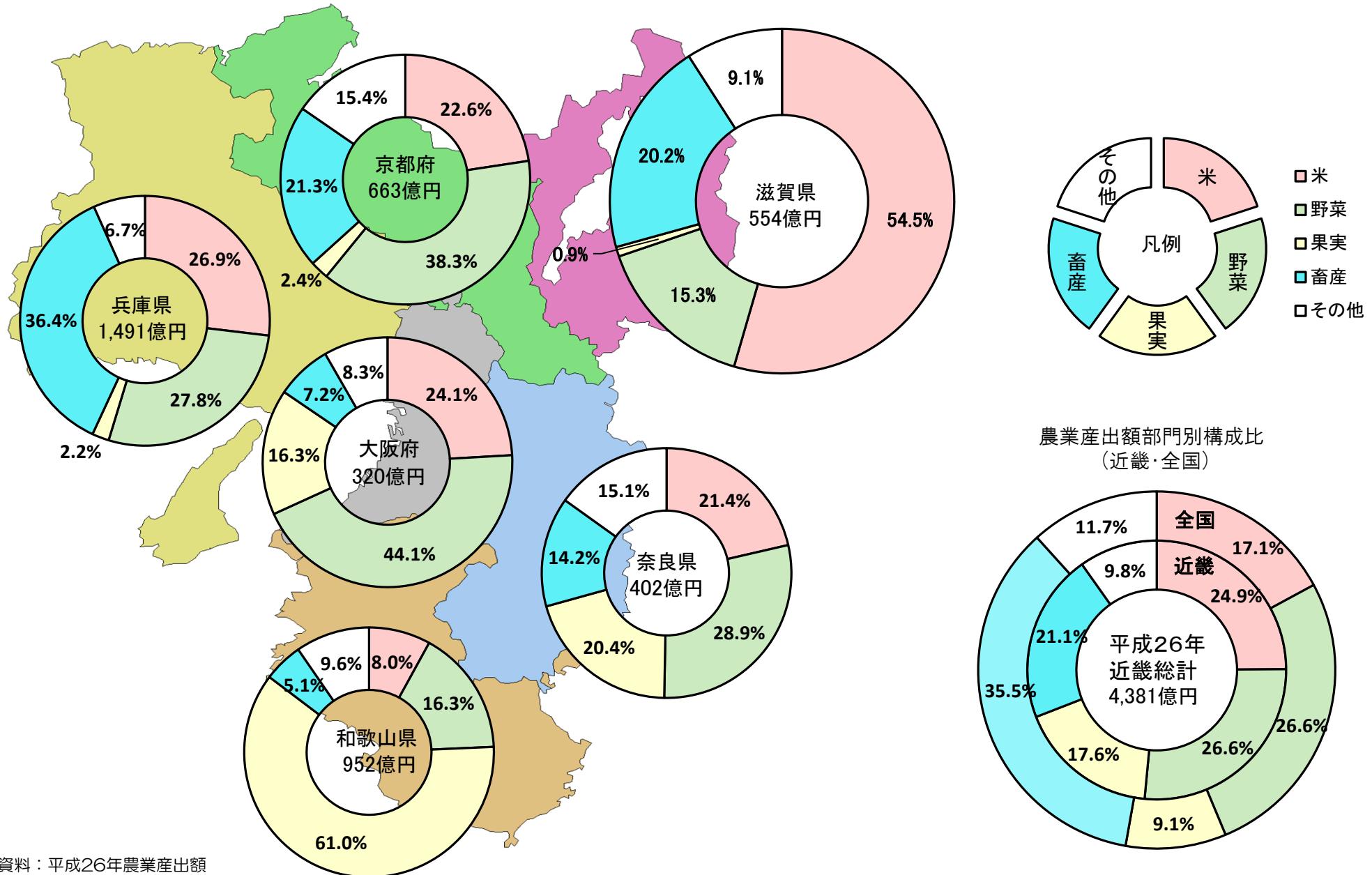
手作り工房「比良の里」での味噌加工

滋賀県の農業 ②



農業産出額(平成26年)

- 滋賀県の農業産出額は554億円で、近畿6府県中4番目です。品目別の割合は、米が54.5%と過半を占め、次いで近江牛に代表される畜産が20.2%を占めており、野菜と果樹の割合が比較的小さいことが特徴となっています。

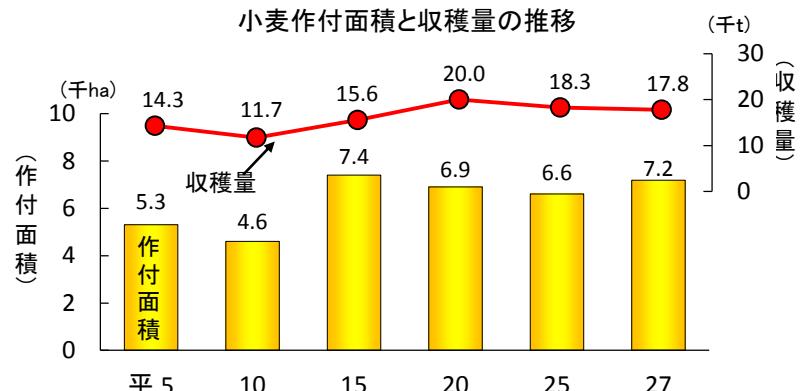
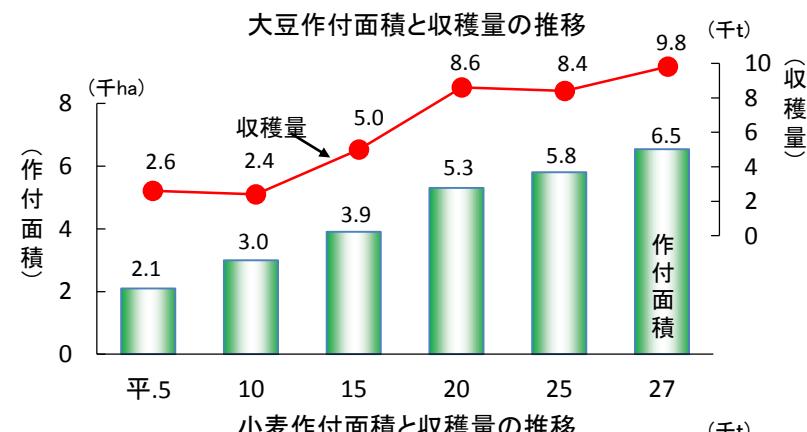
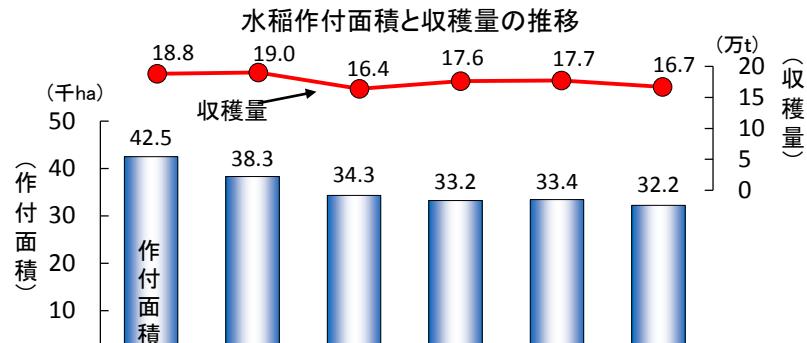


滋賀県は、米を中心に、麦・大豆等を組み合わせた水田農業が中心です。



- 「コシヒカリ」、「キヌヒカリ」を中心に、極良食味の新品种「みずかがみ」が、琵琶湖の環境に配慮し栽培されています。
- 平成27年産の作付面積は、約3万2千ha、収穫量は、16万7千トンになっています。

- 麦、大豆は、集落営農によるブロックローテーションで取組・推進しています。
- 平成27年産小麦の作付面積は約7千ha、収穫量は約1万8千トン。大豆は約7千ha、1万トンとなっています。



「近江の伝統野菜」は14品種です。



(甲賀市水口町)



(甲賀市甲南町杉谷地区)



(米原市伊吹地区)



(甲賀市甲南町杉谷地区)



(日野町)



(高島市安曇川地区)

「近江の伝統野菜」とは、

原産地が滋賀県内で、おおむね明治以前の導入の歴史を有し、外観・形状・味などに特徴がある特産的な野菜で、かつ、種子の保存が確実に行われている野菜をいいます。



(近江八幡市北乃庄)



(甲賀市土山町鮎河地区)



(草津市山田地区)



(近江八幡市安土町下豊浦地区)



(彦根市小泉町)



(米原市米原地区)



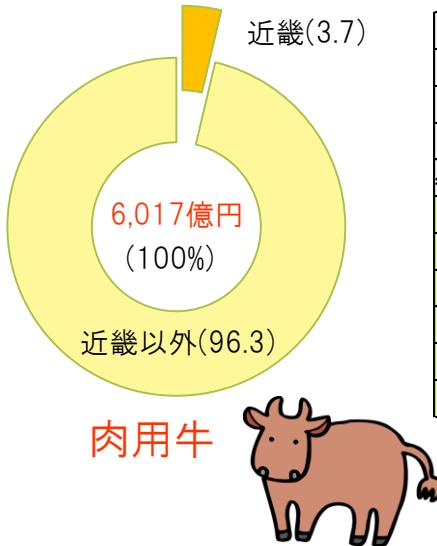
(愛荘町我孫子北八木東出)



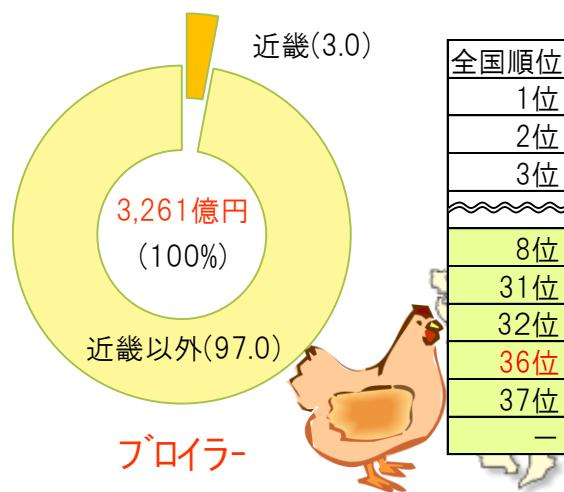
(湖南市下田地区)

農業産出額に占める畜産部門別全国ランキング(平成26年)

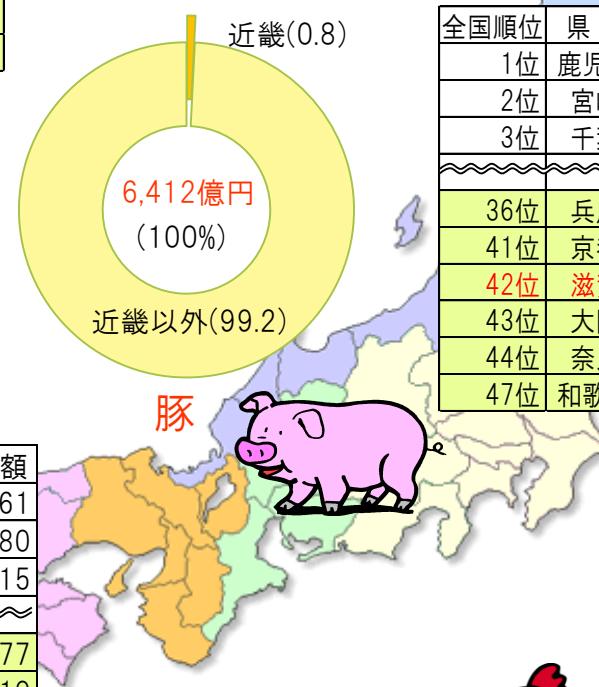
- 農業産出額に占める畜産部門合計額は全国で29,912億円で、そのうち滋賀県は112億円(0.4%)となっています。
- また、肉用牛のシェアは56億円(0.9%)となっています。



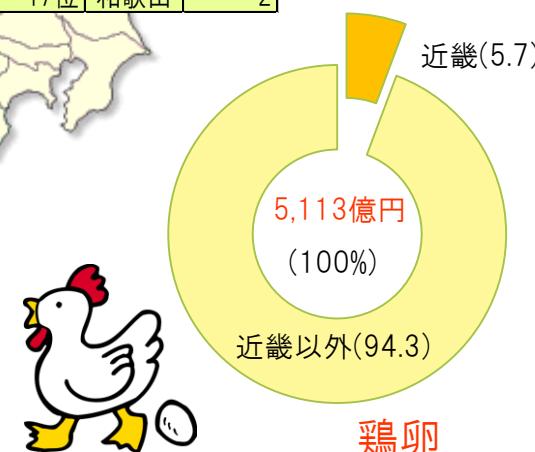
全国順位	県 等	産出額
1位	鹿児島	959
2位	北海道	896
3位	宮崎	571
13位	兵庫	132
25位	滋賀	56
37位	京都	17
44位	和歌山	8
45位	奈良	7
47位	大阪	1



全国順位	県 等	産出額
1位	宮崎	661
2位	鹿児島	580
3位	岩手	515
8位	兵庫	77
31位	京都	10
32位	和歌山	9
36位	滋賀	1
37位	奈良	0
—	大阪	—



全国順位	県 等	産出額
1位	鹿児島	763
2位	宮崎	501
3位	千葉	478
36位	兵庫	18
41位	京都	12
42位	滋賀	7
43位	大阪	6
44位	奈良	4
47位	和歌山	2



全国順位	県 等	産出額
1位	茨城	411
2位	千葉	368
3位	鹿児島	281
10位	兵庫	175
26位	京都	59
40位	滋賀	20
42位	和歌山	18
44位	奈良	14
47位	大阪	3

資料:平成26年農業産出額

単位(億円)

12

畜産物品目別消費量

—全国ランキング—

・大津市の牛肉の消費量は、全国の上位に位置していますが、豚肉の消費量は、下位となっています。



牛 肉



豚 肉



牛 乳

順位	市等	消費量(g)
1位	和歌山市	10,467
2位	京都市	10,340
3位	大阪市	10,207
4位	奈良市	10,159
5位	大分市	9,552
6位	広島市	9,506
7位	北九州市	9,478
8位	堺市	9,440
9位	福岡市	9,269
10位	松山市	9,236
11位	大津市	9,211
12位	熊本市	9,089
13位	佐賀市	8,915
14位	神戸市	8,840
15位	山口市	8,835
	全国平均	6,737

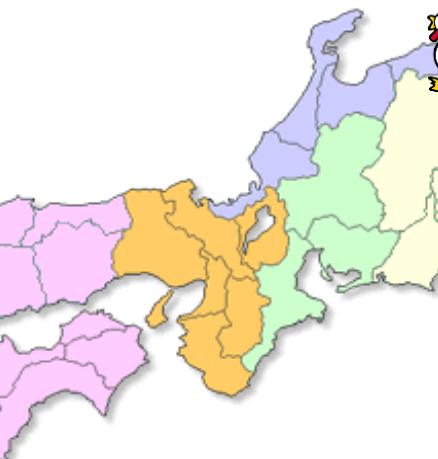


鶏 卵



鶏 肉

順位	市等	消費量(g)
1位	鳥取市	39,378
2位	奈良市	34,502
3位	松山市	33,952
4位	和歌山市	33,683
5位	堺市	33,512
6位	津市	33,482
7位	松江市	33,468
8位	福井市	33,254
9位	山口市	33,202
10位	青森市	33,195
11位	京都市	32,817
12位	広島市	32,488
13位	大阪市	32,484
31位	神戸市	30,072
32位	大津市	29,709
	全国平均	30,243



畜産物品目別購入額

—全国ランキング—

・牛肉の購入額は、近畿地域の各都市が全国の上位を独占し、鶏肉・鶏卵の購入額も上位にあります。
 ・また、大津市は、牛乳の購入額が6位となっていますが、豚肉は中位に位置しています。



牛 肉



豚 肉



牛 乳

順位	市等	購入額(円)
1位	京都市	36,822
2位	和歌山市	36,506
3位	大津市	34,479
4位	奈良市	31,746
5位	大阪市	31,575
6位	堺市	30,989
7位	神戸市	29,803
8位	北九州市	29,457
9位	津市	29,217
10位	大分市	28,365
11位	徳島市	27,819
12位	広島市	26,372
13位	佐賀市	24,648
14位	福岡市	24,218
	全国平均	19,629

順位	市等	購入額(円)
1位	横浜市	29,374
2位	甲府市	28,821
3位	川崎市	28,588
4位	さいたま市	28,487
5位	新潟市	28,146
6位	静岡市	28,143
7位	札幌市	27,463
8位	和歌山市	27,347
9位	浜松市	27,071
11位	奈良市	26,925
13位	堺市	26,276
16位	京都市	25,864
22位	大津市	25,257
24位	神戸市	25,241
27位	大阪市	24,798
	全国平均	25,461



鶏 卵



鶏 肉

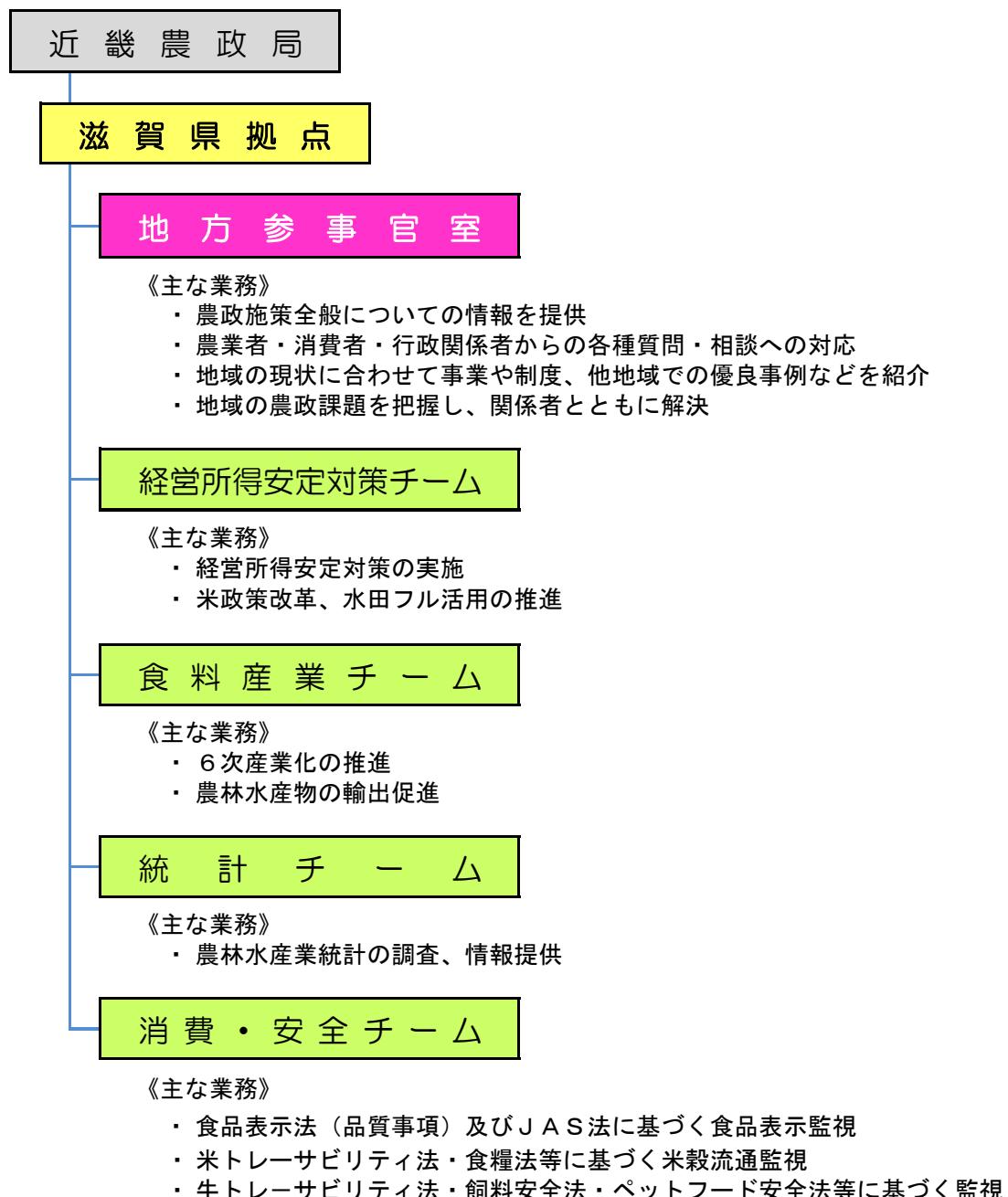
順位	市等	購入額(円)
1位	高知市	9,925
2位	京都市	9,713
3位	奈良市	9,703
4位	福島市	9,617
5位	堺市	9,523
6位	神戸市	9,435
7位	和歌山市	9,435
8位	熊本市	9,239
9位	鳥取市	9,162
10位	仙台市	9,125
11位	大阪市	8,956
12位	川崎市	8,861
13位	松山市	8,848
14位	大津市	8,838
	全国平均	8,466

順位	市等	購入額(円)
1位	福岡市	17,595
2位	鹿児島市	16,841
3位	神戸市	16,516
4位	大津市	16,312
5位	熊本市	16,307
6位	京都市	16,236
7位	和歌山市	16,101
8位	奈良市	15,901
9位	北九州市	15,878
10位	大分市	15,774
11位	堺市	15,617
12位	大阪市	15,477
13位	広島市	15,379
	全国平均	15,319

資料：
 総務省「家計調査」
 (平成24～26年平均)
 (1世帯当たり)

1. 概況

近畿農政局滋賀県拠点の組織概要



(平成28年4月1日現在)

近畿農政局滋賀県拠点
〈所在地〉〒520-0044
滋賀県大津市京町3-1-1
大津びわ湖合同庁舎

電話 077(522)4261(代)
ファックス 077(523)1824

地方参事官室 電話 077(522)4261
(地方参事官ホットライン)

経営所得安定対策チーム 電話 077(522)4274

食料産業チーム 電話 077(522)4273

統計チーム 電話 077(522)4344

消費・安全チーム 電話 077(522)4272

近畿農政局滋賀県拠点 管内概況
－平成28年4月－

〒520-0044

滋賀県大津市京町3-1-1 大津びわ湖合同庁舎 6階

近畿農政局滋賀県拠点 地方参事官室

電話 077-522-4261

FAX 077-523-1824
